

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 2 日 (2021.12.2)

【公開番号】特開 2019-202311 (P2019-202311A)

【公開日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-048

【出願番号】特願 2019-30467 (P2019-30467)

【国際特許分類】

B 0 1 F 7/16 (2006.01)

B 0 1 F 15/02 (2006.01)

B 0 1 F 13/00 (2006.01)

H 0 1 M 4/139 (2010.01)

H 0 1 M 4/88 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 F 7/16 F

B 0 1 F 15/02 A

B 0 1 F 15/02 B

B 0 1 F 13/00 Z

H 0 1 M 4/139

H 0 1 M 4/88

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 20 日 (2021.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

さらに、第 1 経路の先端が、第 2 経路の先端より水平部に接近していると、第 2 経路の先端から排出される液体を含む成分の多くが、水平部との接触によって、直ちに回転部材の筒状部付近に移送される。

これにより、回転部材による遠心力によって回転部材と内壁面との間に攪拌対象を膜状に存在させた状態で行う攪拌の効果をより一層高めることができるようになる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

液体を含む成分の投入は第 2 投入口 4 を経由して行われ、投入された液体成分は第 2 経路 4 1 内を降下する。

第 2 経路 4 は第 1 経路 3 に比べて短く、容器 2 内側の先端開口が容器 2 内の比較的高い位置に配置されている。また、容器 2 内側の先端開口の直下は、回転部材 7 の筒状部 8 の内周面 8 2 に近接している。

これにより、容器 2 内側の先端開口から排出される液体を含む成分の多くは、直ちに回転部材 7 の筒状部 8 の内周面 8 2 付近に移送される。